

平成 26 年度 メディカルサポート部 バスケットボール競技 メディカルサポート活動報告

陽春の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととご推察申し上げます。平成 26 年度のメディカルサポートの際は、多くの先生方にご参加いただき誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

平成 26 年度の群馬県高校バスケットボールメディカルサポートの活動に関して、以下にご報告させていただきます。

1. メディカルサポート概要

1) 参加大会

下記 5 大会、全 188 試合（県内大会 158 試合、関東大会 30 試合）に参加した。

第 68 回関東高等学校バスケットボール選手権大会権予選会	（県総体）：2 日間 30 試合
第 67 回全国高等学校総合体育大会県予選会	（インターハイ）：3 日間 30 試合
第 45 回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会県予選会	（選抜大会）：3 日間 38 試合
第 25 回関東高等学校バスケットボール新人大会県予選会	（新人大会）：4 日間 60 試合
第 25 回関東高等学校バスケットボール新人大会	（関東新人大会）：2 日間 30 試合

2) サポート内容

県内大会では、会場の一角に理学療法ブースを設営し、試合前後の依頼に対応した。また、試合中のゲームサポートとして、スタッフがコート脇に待機し、試合中の傷害に対応した。さらに、新人大会より会場にて日本バスケットボール協会ジュニア向け外傷予防プログラムの掲示や配布といった傷害予防の啓発活動を開始した。関東大会では、県内大会と同様に理学療法ブース、コート脇での対応に加え、観客席にて傷害予防啓発活動を実施した。

3) 参加スタッフ数

県内大会では、メインスタッフは延べ 33 名（実数 9 名）、アシスタントスタッフは延べ 58 名（実数 17 名）であった（表 1）。関東大会では、メインスタッフは延べ 10 名（実数 9 名）、アシスタントスタッフは延べ 6 名（実数 6 名）であった（表 2）。

表 1 県内大会メディカルサポート概要（選手のみ）

	日数 (日)	試合数 (試合)	スタッフ数 (名) メイン / アシスタント	対応件数 (件)	対応回数 (回)
県総体	2	30	6 / 8	7	26
インターハイ	3	30	8 / 14	4	10
選抜大会	3	38	8 / 14	10	17
新人大会	4	60	11 / 22	32	72
計	12	158	33 / 58	53	125

表 2 関東大会メディカルサポート概要（選手のみ）

	日数 (日)	試合数 (試合)	スタッフ数(名) メイン / アシスタント	対応件数 (件)	対応回数 (回)
関東新人大会	2	30	10 / 6	8	12

4) 対応件数

県内大会では、選手の対応件数は男子 27 件、女子 26 件、計 53 件であった（表 1）。関東大会では、選手の対応件数は男子 5 件、女子 3 件、計 8 件であった（表 2）。

5) 対応回数（表 1、2）

県内大会では、選手の対応件数は計 125 回であった（表 1）。関東大会では、選手の対応件数は計 12 回であった（表 2）。

2. メディカルサポートの対応内容（選手のみ）

県内大会ではテーピング 36 回、ストレッチ 28 回、アイシング 29 回、傷害確認・対処方法の指導 22 回、その他 10 回であった（表 3）。関東大会ではテーピング 7 回、ストレッチ 1 回、アイシング 2 回、傷害確認・対処方法の指導 2 回であった（表 4）。

表 3 県内大会の対応内容

	テーピング	ストレッチ	アイシング	傷害確認 対処方法の指導	その他	計
県総体	13	1	7	5		26
インターハイ	1	3	4	2		10
選抜大会	6	4	4	3		17
新人大会	16	20	14	12	10	72
計	36	28	29	22	10	125

表 4 関東大会の対応内容

	テーピング	ストレッチ	アイシング	傷害確認 対処方法の指導	その他	計
関東新人大会	7	1	2	2		12

3. 傷害内容と傷害部位（選手のみ）

県内大会では関節構成体損傷が 21 件、筋・腱損傷が 14 件と多くみられた。特に多いものとして、足関節の関節構成体損傷が 15 件、膝関節の筋・腱損傷が 8 件、下腿の筋痙攣が 7 件であった（表 5）。関東大会では手指の脱臼、下腿の筋痙攣、足関節の関節構成体損傷がそれぞれ 2 件ずつみられた（表 6）。

表 5 県内大会の傷害部位別件数

	頭部	肩関節	肘関節	手関節	手指	腰部	股関節	大腿部	膝関節	下腿	足関節	足部	計
脱臼					1								1
打撲	1			1		2	1	2	2				9
出血					1								1
筋痙攣										7			7
関節構成体損傷				1	2				1	1	15	1	21
筋・腱損傷		1	1					2	8	2			14
計	1	1	1	2	4	2	1	4	11	10	15	1	53

表 6 関東大会の傷害部位別件数

	頭部	肩関節	肘関節	手関節	手指	腰部	股関節	大腿部	膝関節	下腿	足関節	足部	計
脱臼					2								2
筋痙攣										2			2
関節構成体損傷											2		2
筋・腱損傷											1		1
判断不可												1	1
計					2					2	3	1	8

4. 勉強会

昨年度から継続して、各大会前に開催した。勉強会はスポーツ現場に即した実践的な知識や対応について学んでもらうことや、メディカルサポートだけでなくスポーツ理学療法について興味を持ってもらうことを目的に開催した。

1) 県総体前勉強会

【日時】平成 26 年 4 月 25 日（金）19 時 30 分～22 時 00 分

【会場】群馬大学医学部保健学科西棟 2 階 運動療法室

【内容】メディカルサポート概要、シミュレーション実習（足関節捻挫）、懇親会

【受講料】無料 【参加人数】7 名 【スタッフ】大河原、奥井、江原、中川、金城

2) インターハイ前勉強会

【日時】平成 26 年 6 月 12 日（木）19 時 30 分～22 時 00 分

【会場】高崎健康福祉大学 3 号館 1 階 運動学実習室

【内容】メディカルサポート概要、RICE 処置、足関節テーピング、懇親会

【受講料】1,000 円 【参加人数】13 名 【スタッフ】大河原、奥井、江原、遠藤、中川、金城

3) ウィンターカップ前

【日時】平成 26 年 9 月 7 日（日）9 時 30 分～12 時 30 分

【会場】高崎健康福祉大学 6 号館 第 1 体育館

【内容】メディカルサポート概要、膝関節テーピング、フィールドテスト、試合

【受講料】2,000 円 【参加人数】15 名 【スタッフ】大河原、奥井、江原、中川、金城

4) 新人大会前

【日時】平成 27 年 1 月 9 日（金）19 時 30 分～22 時 00 分

【会場】高崎健康福祉大学 3 号館 1 階 運動学実習室

【内容】メディカルサポート概要、シミュレーション実習（膝関節靱帯損傷）、懇親会

【受講料】500 円 【参加人数】9 名 【スタッフ】大河原、奥井、中川、金城

5. まとめ

平成 26 年度の群馬県高校バスケットボールメディカルサポートは、例年までの準々決勝以降のサポートから、4 回戦以降のサポートへと活動範囲を拡大した。4 回戦のサポートもウィンターカップより徐々に周知されるようになり、対応件数も増加した。新人大会からは傷害予防啓発活動を開始し、少人数ではあるが選手や観客の方々に感心を持ってもらうことができたと思う。

また、今年度は関東新人大会においてもサポート活動を行った。都県上位のチームが集まった大会においても帯同トレーナーを有していないチームもあり、メディカルサポートの実施によって、選手や指導者が安心して競技できる環境づくりの一役を担えたと感じる。

来年度も今年度同様、県内大会における 4 回戦以降のサポート活動や大会前の勉強会を継続していき、さらなるサポートの充実を図っていく必要があると考える。さらに、傷害予防の啓発活動についてはサポート会場での活動のみでなく、依頼のあった学校へ訪問して活動するなど、徐々に活動範囲を拡大していきたいと考える。

群馬スポーツリハビリテーション研究会
メディカルサポート部バスケットボール競技委員会
大河原、奥井、江原、小林、金城